

令和2年度 秩父地域森林活用等創出支援事業 事業概要書

事業名: 神社仏閣・東京大学演習林をはじめ秩父材や文化・森の科学伝承事業

団体名: (一社)林創研



事業の目的・内容

秩父市の森林の文化・観光資源の価値を伝えるとともに、新たな森林サービス産業の市場創造にも貢献できる人材育成プログラムを補強するための一つとして、森林に携わる人材へ最新の技術を駆使したワークを行う。



今までの活動状況

埼玉県立秩父農工科学高等学校で森林環境教育、出張講義を行った。林業学科の学生を2班にわけて、演習林における直径・樹高測定を行い平均値を算出後、最新の測定器によって、木の値段の算出等を行い、検討を行った。

また、360°カメラによる演習林の撮影とフィードバックを行った。



これからの活動・行事

林業・林産業の振興を通じ、人と森との持続的な関係を維持するための知識、情報の普及啓発に勤め、日本の国産材自給率の向上、森林文化・教育に対する意識の高揚を社会全体に広める。日本から世界へと持続可能な未来へ、日本の森林から発信していきたい。